

様式編

本 部 長 指 令 第 号

年 月 日 時 分			
発信者		受信者	
(内容)			
(報告内容)			

様式3 配備通知書

【第1編-28ページ】

配 備 通 知 書

第 号
年 月 日

幸手消防署長

様

幸手警察署長

幸手市長

第 号配備の施行について（通知）

年 月 日 時 分 第 号配備を施行し（幸手市災害対策本部を設置し）たので通知します。

様式 4 配備発令書

【第 1 編-28ページ】

配 備 発 令 書

第 号配備を発令したので

動員を受けた職員は、防災活動に全力を尽くされたい。

年 月 日 時 分 発令

幸手市長

様式5 地震発生時の施設点検表

【第1編-29ページ】

地震発生時の施設点検表

下記の施設は震度4以上の地震が発生した際、被害状況確認をすることが前提です。
業務時間外、休業日に地震が発生し、「当日確認基準」を満たさない場合は、翌営業日の始業時に確認し、危機管理防災課まで報告してください。

地震発生日時	震源	計測震度	震度階級	マグニチュード
令和 年 月 日				
時 分 発生				
時 分 幸手市感知				

R5.1.5現在

	担当部課 (担当者)	施設名	当日確認 基準	確認時間	被害の 有無	備考 (被害状況等)
総務部	契約管財課	市役所庁舎	震度4			
		千塚污水处理場				
		旧保健センター (シルバー人材センター)				
		旧東分署(業務時間外)				
		旧吉田幼稚園	震度5弱			
市民生活部	くらし防災課 (交通安全防犯 担当・コミュニ ティ生活担当)	コミュニティセンター	震度5弱			
	環境課	ひばりヶ丘桜泉園	震度5弱			
		香日向污水处理場				
	くらし防災課 (防災担当)	駅自由通路(昇降機のみ) (震度5弱以上は道路河川課対応)	震度4			
健康福祉部	社会福祉課	ウェルス幸手	震度4			
		さくらの里	震度5弱			
		なのはなの里				
	介護福祉課	老人福祉センター	震度5弱			
	こども支援課	第一保育所	震度5弱			
		第二保育所				
		第三保育所				
		児童館				
		風の子児童クラブ(さかえ小学校)				
		にじいろ児童クラブ(児童館)				
		たんぼぼ児童クラブ(長倉小学校)				
		あおぞら児童クラブ(幸手小学校)				
		たけのこ児童クラブ(上高野小学校)				
		ひまわり児童クラブ(行幸小学校)				
		たいよう児童クラブ(西中学校)				
		さくら児童クラブ(さくら小学校)				
		さいかち児童クラブ(権現堂川小学校)				
		いなほ児童クラブ(吉田小学校)				
		八代っ子児童クラブ(八代小学校)				

	担当部課 (担当者)	施設名	当日確認 基準	確認時間	被害の 有無	備考 (被害状況等)
建設経済部	都市計画課	幸手総合公園	震度 5 弱			
		千塚西公園				
		権現堂公園				
	まちづくり 事業課	西口区画整理事務所	震度 5 弱			
	建築指導課	幸団地（市営住宅）	震度 5 弱			
	商工観光課	勤労福祉会館	震度 5 弱			
		市営釣場神扇池				
	道路河川課	吉田橋	震度 5 弱			
		高平橋				
		玉子橋				
		駅自由通路（昇降機のみ） （震度 4 は危機管理防災課対応）				
水道部	水道管理課	第 1 浄水場	震度 4			
		第 2 浄水場				
		耐震性貯水槽	震度 5 弱			
		旧東分署（業務時間内）				
	下水道課	幸手汚水中継ポンプ場	震度 4			
		農業集落排水処理場				
教育委員会	社会教育課	中央公民館	震度 5 弱			
		東公民館				
		西公民館				
		南公民館				
		北公民館				
		図書館				
		旧香日向小学校 （図書館分館及び体育館、看護専門 学校）				
		郷土資料館				
		アスカル幸手				
		海洋センター				
		ひばりヶ丘球場				
		武道館				
	学校教育課	幸手小学校	震度 5 弱			
		権現堂川小学校				
		上高野小学校				
		吉田小学校				
		八代小学校				
		行幸小学校				
		長倉小学校				
		さかえ小学校				
		さくら小学校				
		幸手中学校				
		西中学校				
		東中学校				
		心すこやか支援室 （旧シルバー人材センター建物内）				

様式6 市町村行政機能チェックリスト

【第2編-68ページ】

市町村行政機能チェックリスト

<送付先>埼玉県災害対策課 (FAX 048-830-8159 TEL 048-830-8181)

※都道府県はとりまとめ、総務省市町村課 (FAX 03-5253-5592 TEL 03-5253-5516) へ送付

市町村行政機能即報
(チェックリスト)

総務省受信者氏名 _____

災害名 _____ (第 報)

報告日時	年 月 日 時 分
都道府県	埼玉県
市町村	
報告者職名氏名	職名 氏名 ※都道府県等から派遣された者が記入する場合 (派遣元)

1. トップマネジメントが機能しているか

はい ☐ いいえ ☐

①市町村長の安否は確認できたか

はい ☐ いいえ ☐

(市町村長不在の場合、代行者の職名氏名 _____)

②災害対策本部会議を定期的に行っているか

はい ☐ いいえ ☐

③災害応急対策業務等(例:避難所運営、物資供給)(以下「業務等」という)の役割分担を行い、責任者が明確になっているか

はい ☐ いいえ ☐

④広報・報道対応を円滑に行えているか(プレスリリースの定例化等)

はい ☐ いいえ ☐

⑤特記事項

--

2. 業務実施体制(人的体制)は整っているか

はい ☐ いいえ ☐

①職員は業務等を担うために適切に参集しているか

はい ☐ いいえ ☐

(職員の参集状況約 _____ % (業務等実施予定職員約 _____ 名中約 _____ 名参集))

②職員(一般行政)の応援派遣要請は行ったか

はい ☐ いいえ ☐

③特記事項

--

3. 業務実施環境(物的環境)は整っているか

はい ☐ いいえ ☐

①災害対策本部が設置される庁舎に災害対策本部業務を実施できないような損壊が生じているか

はい ☐ いいえ ☐

②主要な庁舎等に住民窓口業務等を実施できないような損壊が生じているか

はい ☐ いいえ ☐

③安否確認、被災者支援に不可欠な住民記録等のデータに支障が生じているか(停電、端末・サーバの損壊、設置場所への立入不可など)

はい ☐ いいえ ☐

④特記事項

--

※ 第一報については、原則として、総務省消防庁へ「災害概況報」提出後、可能な限り早く
(原則として発災後12時間以内)、分かる範囲で記載し報告すること。

様式 7 公用負担命令票

公 用 負 担 命 令 票

住所

氏名

第 号
負担者

物 件	数 量	負担内容（使用、収用、処分等）	期 間	摘 要

災害対策基本法第64条、水防法第28条の規定により上記物件を（使用又は処分）する。

年 月 日

命令者

身 分

氏 名 印

様式 8 発生速報

【第 2 編-93ページ】

《被害報告様式（県報告用） 様式第 1 号》

発 生 速 報

幸手市

日	時	分受信	発信者		受信者	
1 被害発生						
2 被害場所						
3 被害程度						
4 災害に対する措置						
5 その他必要事項						

様式 9 経過速報

【第 2 編-93ページ】

《被害報告様式（県報告用） 様式第 2 号》

経 過 速 報

幸 手 市

				発信者				受信者			
災害の種別							発生地域				
被害日時			自 月 日 至 月 日								
報告区分											
区 分			被 害		区 分			被 害			
人的被害	死者		人		田畑被害	田	流失・埋没		ha		
	行方不明者		人	冠水			ha				
	負傷者	重傷	人	流失・埋没			ha				
		軽傷	人	冠水			ha				
住家被害	全壊		棟		道路被害		決壊		箇所		
	(焼)		世帯	冠水			箇所				
	(流失)		人	その他の被害	文教施設		箇所				
					病院		箇所				
	半壊		棟		橋りょう		箇所				
	(焼)		世帯		河川		箇所				
			人		砂防		箇所				
	一部破損		棟		清掃施設		箇所				
			世帯		崖くずれ		箇所				
			人		鉄道不通		箇所				
	床上浸水		棟		被害	被害船舶		隻			
			世帯			水道		戸			
			人	電話		回線					
	床下浸水		棟	電気		戸					
			世帯		ガス		戸				
			人		ブロック塀等		箇所				
非住家被害	公共建物	全壊（焼）	棟	り災世帯数		世帯					
		半壊（焼）	棟	り災者数		人					
	その他	全壊（焼）	棟	火災発生	建物		件				
		半壊（焼）	棟		危険物		件				
災害に対してとられた措置											
(1) 災害対策本部設置の状況											
(2) 市（町村）のとした主な応急措置の状況											
(3) 応援要請又は職員派遣の状況											
(4) 災害救助法適用の状況											
(5) 避難命令・勧告の状況											
市町村数				地区数							
人 員				人							
(6) 消防機関の活動状況											
ア 出動人員				消防職員				名			
				消防団員				名			
イ 主な活動内容（使用した機材を含む）											

様式 10 被害状況調

【第2編-94ページ】

《被害報告様式（県報告用） 様式第3号》

(1/2)

被 害 状 況 調

幸 手 市

災害の種別		発生地域	
被害日時	自 月 日 至 月 日		
報告区分	確 定		

区 分			被 害	区 分			被 害			
人 的 被 害	死者		人	田 畑 被 害	田	流失・埋没	ha			
	行方不明者		人		田	冠水	ha			
	負 傷 者	重傷	人		畑	流失・埋没	ha			
		軽傷	人			冠水	ha			
住 家 被 害	全壊	棟		道 路 被 害	決壊		箇所			
		世帯			冠水		箇所			
		人								
	半壊	棟		そ の 他 被 害	文教施設		箇所			
		世帯			病院		箇所			
		人			橋りょう		箇所			
	一部破損	棟			河川		箇所			
		世帯			砂防		箇所			
		人			清掃施設		箇所			
	床上浸水	棟				崖くずれ		箇所		
		世帯				鉄道不通		箇所		
		人				被害船舶		隻		
	床下浸水	棟					水道		戸	
		世帯					電話		回線	
		人					電気		戸	
							棟	ガス		戸
							世帯	ブロック塀等		箇所
							人			
	非 住 家 被 害	公共建物		全壊（焼）			棟	り災世帯数		世帯
				半壊（焼）			棟	り災者数		人
その他		全壊（焼）		棟			火 災 発 生	建物	件	
		半壊（焼）	棟	危険物				件		
				その他			件			

区 分		被 害	市 災 町 害 村 対 策 本 部	名 称			
公共文教施設	千円			設 置	月 日 時		
農林水産業施設	千円						
公共土木施設	千円						
その他の公共施設	千円				解 散	月 日 時	
小計	千円						
公共施設被害 市町村数		団体		災 設 害 置 対 市 策 町 本 村 部 数			
そ の 他	農産被害	千円					
	林産被害	千円					
	畜産被害	千円					
	水産被害	千円		計 団体			
	商工被害	千円		災 適 害 用 救 市 助 町 法 村 名			
					計 団体		
	その他	千円		消防職員出動延人数	人		
被害総額		千円		消防団員出動延人数	人		
備 考	1 災害発生場所						
	2 災害発生年月日						
	3 災害の種類概況						
	4 消防機関の活動状況						
	5 その他（避難の勧告・指示等の状況）						

様式 1 1 災害情報記録用紙

【第1編-32ページ】

災害情報記録用紙

月	日	時	分	受信者	
相手方					TEL
(内 容)					
1. 場 所					
2. 状 況					
3. 要請事項					
(処理状況)				担当課	
				担当者	

様式 12 自衛隊災害派遣要請書

【第2編-71ページ】

第 年 月 日 号

埼玉県知事 様

幸手市長

自衛隊災害派遣要請書

下記の事由により、至急自衛隊の派遣を要請します。

記

1. 災害の状況及び派遣を要請する事由
2. 派遣を必要とする期間
3. 派遣を希望する人員・車両・船舶・航空機等の概要
 - (1) 人員
 - (2) 車両等の種類
4. 派遣を希望する区域及び活動内容
 - (1) 区域
 - (2) 活動内容
5. その他、参考となるべき事項

様式 13 自衛隊災害派遣撤収要請書

【第2編-71ページ】

第 号
年 月 日

埼玉県知事 様

幸手市長

自 衛 隊 災 害 派 遣 撤 収 要 請 書

当市 地区の避難救助活動のため、 年 月 日付幸手市災害対策本部発
第 号をもって自衛隊の派遣を要請しましたが、避難救助活動が概ね完了いたしましたので、
撤収を要請します。

記

撤収要請日時 年 月 日 時 分

年 月 日 時 分 発令

様式編-18

様式 15 避難指示についての報告

【第3編-53ページ】

避難指示についての報告

年 月 日

幸手消防署長

様

幸手警察署長

幸手市長

避難指示について（報告）

当市 地区に対し 年 月 日 時 分

避難指示を発したので報告します。

様式 17 避難所状況報告

【第2編-130ページ】

避難所状況報告

発信者			受信者			年	月	日	時	分
避難所名					電 話					
避難 所 の 状 況	地区名	世 帯	人 数	備 考						
(状況)										
担当者 名										
連絡 指示 事項										

避難状況一覧

作成者

避難所名	電 話	責 任 者	開 設 日 時	避難状況（地区名・人数等）			
				時 分	時 分	時 分	時 分

様式 19 トリアージタグ

【第 2 編-106 ページ】

トリアージタグ

(災害現場用)

No.	氏 名 (Name)	年齢 (Age)	性別 (Sex) 男 (M) 女 (F)
住 所 (Address)		電 話 (Phone)	
トリアージ実施月日・時刻 月 日 AM 時 分 PM		トリアージ実施者氏名	
搬送機関名		収容医療機関名	

特記事項 (裏面)

トリアージ実施場所	トリアージ区分 O I II III		
トリアージ実施機関	医 師 救 急 救 命 士 そ の 他		
症状・傷病名			
特記事項			

- 1 枚目「災害現場用」
2 枚目「輸送機関用」
3 枚目「収容医療機関用」

(タグ製作主体の裁量部分)

0	不	治	療	群	(黒)
I	最	優	先	治	療 群 (赤)
II	非	緊	急	治	療 群 (黄)
III	軽	処	置	群	(緑)

食 料 調 達 状 況

作 成 者 () 月 日

調 達 先 炊き出し実施先	調 達 状 況							
	月 日 時		月 日 時		月 日 時		月 日 時	
	種 類 ・ 数 量	金 額	種 類 ・ 数 量	金 額	種 類 ・ 数 量	金 額	種 類 ・ 数 量	金 額

様式 2 1 物資受け払い簿

【第2編-160ページ】

物資受け払い簿

[illegible]

様式 2 2 物品輸送引渡書、物品受領書

【第 2 編-160ページ】

物品輸送引渡書

地区名

年 月 日 時 分

輸送担当者

物 品 名	数 量	備 考

物品受領書

地区名

年 月 日 時 分

受 領 者

物 品 名	数 量	備 考

様式 2 3 輸送状況

【第 2 編-160ページ】

輸 送 状 況

作成者 ()

月 日 時 分

避難場所名 (地区名)	担当者	輸 送 給 品 (数 量 ・ 時 間)				
		食 料	毛 布			

様式 2 4 災害救援物資受領書

【第 2 編-160ページ】

災害救援物資受領書

災害救援物資として下記のとおり受領しました。

記

品 名	数 量

年 月 日

住 所

氏 名 様

幸手市長

様式 2 5 緊急輸送車両即時（事前）確認申請書

【第 2 編-160ページ】

緊急輸送車両即時（事前）確認申請書

年 月 日

埼玉県知事

様

申請者 住所
氏名

下記により、緊急輸送車両であることの確認を受けたいので申請します。

記

- 1 使用自動車及び登録番号
- 2 輸送月日時
- 3 輸送人員又は品名
- 4 輸送経路（出発、経路、目的地）
- 5 その他

輸 送 記 録 簿

年月日	目 的	輸 送 区 間		使 用 時 間		使用車両		輸送担当者	金 額	備 考
		区 間	距 離	時・分	時・分	種 類	台数			

- 注 1 救助事務と本部事務と区分して作成する。
- 2 目的欄は、救助の種類又は用途を記入する。
- 3 市の車両については、輸送担当者欄に車両番号で記入する。
- 4 使用車両は、有無償を問わず記入し、借上げ料は金額欄に記入する。

様式 27 緊急通行車両事前届出書

【第2編-155ページ】

災害応急対策用		
緊急通行車両事前届出書		
年 月 日		
埼玉県公安委員会 殿		
申請者		
機関等の所在地（住所）		
機関等の名称		
フリガナ 氏 名	幸手市長	印
電話	（ ）	
【担当名 氏名 】		
番号標に表示 されている番号		
輸送人員（定員）又は品名		
車両の使用者	住所	
	氏名	
業務の内容	1 救助救護 4 災害予知 7 人員輸送 10 飲食料 13 広報啓発 2 応急避難 5 災害復旧 8 避難生活 11 医療医薬 14 その他 3 捜索 6 施設点検 9 調査研究 12 混乱防止 （ ）	
出 発 地	幸手市	
（注） この事前届出書は2部作成して、当該車両を使用して行う業務の内容を証明する書類を添付の上、車両の使用の本拠の位置を管轄する警察署に提出してください。		

様式 28 緊急通行車両事前届出済証

【第2編-155ページ】

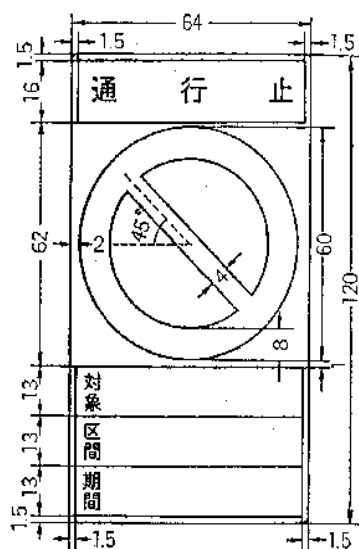
災害応急対策用 緊急通行車両事前届出済証 左記のとおり事前届出を受けたことを証明する。 年 月 日 埼玉県公安委員会 印	第 号
(注) 1 災害発生時には、この届出済証を最寄りの警察署、災害のために設置された検問所等に提出して、緊急通行車両の確認の所要の手続きを受けてください。 2 本届出済証を忘失し、滅失し、汚損し、破損した場合は、警察署に届出て再交付を受けてください。 3 次に該当するときは、本届出済証を返却してください。 (1) 緊急通行車両としての要件がなくなったとき。 (2) 緊急通行車両が廃車となったとき。 (3) その他、緊急通行車両として使用する必要がなくなったとき。	

様式 29 車両通行止標示

【第2編-50ページ】

車両通行止標示

災害対策基本法施行令第32条に基づく緊急通行車両以外の通行を禁止し、又は制限する場合の対象、区間及び期間を定める標示。



- 1 色彩は、文字、縁線および区分線を青色、斜めの帯および枠を赤色、地を白色とする。
- 2 縁線および区分線の太さは、1センチメートルとする。
- 3 図示の長さの単位はセンチメートルとする。
- 4 道路の形状又は交通の状況により特別の必要がある場合にあっては、図示の寸法の2倍まで拡大し、又図示の寸法の2分の1まで縮小することができる。

様式 30 緊急通行車両標章

【第2編-160ページ】

緊急通行車両標章

災害対策基本法施行令第33条第2項に基づく緊急通行車両の標章



- 1 色彩は、記号を黄色、緑及び「緊急」の文字を赤色、「登録(車両)番号」、「有効期限」、「年」、「月」及び「日」の文字を黒色、登録(車両)番号並びに年、月及び日を表示する部分を白色、地を銀色とする。
- 2 記号の部分に、表面の画像が光の反射角度に応じて変化する措置を施すものとする。
- 3 図示の長さの単位は、センチメートルとする。

様式 3 1 水防活動実施報告書

【第 3 編-26 ページ】

水防活動実施報告書 第 報

令和 年 月 日

水防管理団体名
課所名
作成者
連絡先

出水の概況	川 水位 m 雨量 mm			
水防実施箇所	川 左 岸 ・ 右 岸 市 地先			
日時	自 月 日 時 ・ 至 月 日 時			
出動人員(人)	水防団員	消防団員	その他	合 計
水防作業の概況 及び工法	作業準備 ・ 作業開始 ・ 作業中 ・ 作業完了			
被害箇所	堤防 ・ 高水敷 ・ 水門 ・ 樋管 ・ その他()			
被害状況及び 水防の状況	亀裂 ・ 漏水 ・ 法崩れ ・ 越水 ・ 溢水 ・ 破堤 ・ 洗掘 ・ その他()			
	原因は() ・ 調査中 ・ 不明)			
	今後、(大幅に拡大する ・ 拡大する ・ 小規模にとどまる ・ 調査中 ・ 不明)と見込まれる			
使用資機材			住民の協力	
			死傷者	
避難情報の 発令状況				

注 1 各水防管理団体は、水防を行った箇所毎に作成すること。
2 各水防管理団体は、速やかに所管県土整備事務所を経由して知事に報告すること。
3 平面図、横断図等は適宜添付すること。

令和〇年台風〇号における水防活動
(〇〇県〇〇市消防団・令和〇年8月〇日～〇日)

〇概要 (例)

〇〇市消防団は、令和〇年8月〇日、台風〇号の影響に伴う集中豪雨に際し、延べ〇部隊〇名が出動。市内では、1時間雨量100mmを超える豪雨により河川が増水。各地で越水により床上浸水等の被害を受ける危険な状況の中、堤防への土のう積みや住民の避難誘導、人命救助を行い人的被害の軽減のため活動した。

活動時間	出動延人数	主な活動内容
8/〇～8/〇 約12時間	〇名	・土のう積み(300袋) ・避難誘導(20世帯) ・排水作業(3件)

水防活動または
被害状況写真

〇〇川左岸(〇〇地先)
堤防巡視

水防活動または
被害状況写真

〇〇川左岸(〇〇地先)
積み土のう工

水防活動または
被害状況写真

〇〇川右岸(〇〇地先)
月の輪工

水防活動または
被害状況写真

〇〇地区の浸水被害

水防活動実施箇所
地図

要 搜 索 者 名 簿

No.

整理 番号	届 出 月 日	要 搜 索 者							届 出 者			備 考
		住 所	氏 名	年 齢	性 別	身 長 (cm)	体 重 (kg)	着衣その他の特徴	住 所	氏 名	要搜索者との関係	
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											
	月 日											

遺 体 処 理 台 帳

幸手市 No.

整理 番号	死 亡 年月日	遺体発見 日 時	遺体発見 場 所	死亡者氏名	遺 族		洗 浄 等 の 処 理				遺体の 一 時 保存料	検案料	実支出額	備 考
					住所・氏名	死亡者 との関係	品 名	単 価	数 量	金 額				
	年 月 日	月 日 時						円		円	円	円	円	
	年 月 日	月 日 時						円		円	円	円	円	
	年 月 日	月 日 時						円		円	円	円	円	
	年 月 日	月 日 時						円		円	円	円	円	
	年 月 日	月 日 時						円		円	円	円	円	
	年 月 日	月 日 時						円		円	円	円	円	
	年 月 日	月 日 時						円		円	円	円	円	
	年 月 日	月 日 時						円		円	円	円	円	
	年 月 日	月 日 時						円		円	円	円	円	
	年 月 日	月 日 時						円		円	円	円	円	
	年 月 日	月 日 時						円		円	円	円	円	
	年 月 日	月 日 時						円		円	円	円	円	
	小 合 計			人				円		円	円	円	円	

埋 葬 台 帳

整理 番号	死 亡 年月日	埋 葬 年月日	死 亡 者		遺族住所・氏名	埋葬を行なった者		火・埋葬場所 納 骨 場 所	市町村名				No.
			氏 名	性別 年齢		死 亡 者 と の 関 係	住所・氏名		費				
									埋	葬	費		
									棺（附属品 を含む。）	埋 葬 又 は 火 葬 料	骨 箱	計	備 考
	年 月 日	年 月 日							円	円	円	円	通常・特例
									(現物給与) 有 ・ 無	(支給額) 円	(現物給与) 有 ・ 無	(支給等) 円	
	年 月 日	年 月 日							円	円	円	円	通常・特例
									(現物給与) 有 ・ 無	(支給額) 円	(現物給与) 有 ・ 無	(支給等) 円	
	年 月 日	年 月 日							円	円	円	円	通常・特例
									(現物給与) 有 ・ 無	(支給額) 円	(現物給与) 有 ・ 無	(支給等) 円	
	年 月 日	年 月 日							円	円	円	円	通常・特例
									(現物給与) 有 ・ 無	(支給額) 円	(現物給与) 有 ・ 無	(支給等) 円	
	年 月 日	年 月 日							円	円	円	円	通常・特例
									(現物給与) 有 ・ 無	(支給額) 円	(現物給与) 有 ・ 無	(支給等) 円	
	年 月 日	年 月 日							円	円	円	円	通常・特例
									(現物給与) 有 ・ 無	(支給額) 円	(現物給与) 有 ・ 無	(支給等) 円	
	年 月 日	年 月 日							円	円	円	円	通常・特例
									(現物給与) 有 ・ 無	(支給額) 円	(現物給与) 有 ・ 無	(支給等) 円	
	年 月 日	年 月 日							円	円	円	円	通常・特例
									(現物給与) 有 ・ 無	(支給額) 円	(現物給与) 有 ・ 無	(支給等) 円	
小 計			人						円	円	円	円	
合 計									(現物給与) 有 ・ 無	(支給額) 円	(現物給与) 有 ・ 無	(支給等) 円	

(注) 1 「埋葬費」欄には、現物給与の有無、埋葬又は火葬費の支給額等も各々記入すること。

2 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。

3 「備考」の欄の特例は、災害救助法の適用による。

様式 36 遺留品処理票

【第2編-109ページ】

遺 留 品 処 理 票

整理番号	第 号	取扱日時 年 月 日 時 分			
		取扱者 収容所・保管所 氏 名			
被保管者 住 所 名 氏 名			遺 留 品		
			品 名	数 量	
送 付 先	保 管 所				
送付月日	年 月 日				
保管替先	保 管 所				
保管替日	年 月 日				
引渡月日	年 月 日				
受取人の 住 所 名 氏 名					
立会人の 住 所 名 氏 名					
摘 要					

様式 3 7 罹災証明申請書

【第 2 編-172 ページ】

(第 号)

罹 災 証 明 申 請 書

幸手市長

年 月 日

申請者 (世帯主)	住 所	電話番号
	(現在の連絡先)	電話番号
	(ふりがな) 氏 名	

窓口に來られた方 (申請者と同じ場合 は記入不要)	住 所	電話番号
	(ふりがな) 氏 名	申請者との関係

罹災原因	年 月 日の による
------	------------

被災住家※の 所在地 (申請者住所と同じ 場合は記入不要)	
--	--

※ 住家とは、現実に居住(世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。)のために使用している建物のこと。
(被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家)

住家の被害	☐ 浸水被害 (☐ 床上 ☐ 床下) ☐ その他被害(以下に記入)
-------	---

写真による 被害区分の判定	☐ 希望する(写真を添付) ☐ 希望しない
------------------	--

※ 下記の場合には、現地調査を省略し、写真により被害区分を判定することが可能です。写真による判定を希望する場合は、「希望する」欄にチェックをしてください。

- ・地震による被害を受けた住家の写真から「全壊」と判定できる場合
- ・水害による被害を受けた住家の写真から浸水深が確認できる場合
- ・申請者の合意に基づく自己判定方式による一部損壊の判定を行う場合
(「全壊、大規模半壊、中規模半壊、半壊、準半壊、準半壊に至らない(一部損壊)」の6つの被害区分のうち、「準半壊に至らない(一部損壊)」の判定となります)

※ 添付された写真から被害の程度が判断できない場合には、必要に応じて現地調査を行うことがあります。
写真による被害区分の判定を希望しない場合は、写真の添付は必須ではありません。

様式 38 罹災証明書

【第2編-172ページ】

(第 号)

罹 災 証 明 書

世帯主住所			
世帯主氏名			
世帯構成員	氏名	続柄	年齢

罹災原因	年 月 日の による
------	------------

被災住家※の 所在地	
住家※の被害の 程度	☐ 全壊 ☐ 大規模半壊 ☐ 中規模半壊 ☐ 半壊 ☐ 準半壊 ☐ 準半壊に至らない (一部損壊)
浸水区分	

※住家とは、現実に居住(世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。)のために使用している建物のこと。(被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家)

住家以外の被害	
---------	--

上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

幸手市長

災 害 義 援 金 受 領 書

災害義援金として下記のとおり受領しました。

記

金

年 月 日

住 所

氏 名

様

幸手市長

様式 40 応援・受援管理帳票

【第 5 編-28 ページ】

様式第 1 号

応援・受援管理帳票

○応援側資源帳票

応援組織・応援個人名			
所在地			
担当者等情報	担当者連絡先	電話	FAX
	担当	メール	

No	区分	内容	派遣先 送付先	出発予定（上） 到着予定（下）	派遣・送付手段	終了予定日
1	人的 物的			月 日		月 日
				月 日		
2	人的 物的			月 日		月 日
				月 日		
	人的 物的			月 日		月 日
				月 日		
	人的 物的			月 日		月 日
				月 日		
	人的 物的			月 日		月 日
				月 日		
応援内容に基づく協定等（ある場合）						
有償の応援 （単価×数量を記入）						
備考						

○受援側資源情報

受信日時 月 日 時 分	受信部局・受信者名
受信者連絡先	
備考	

○データ入力者の記入情報

書類番号	入力者名	備考
------	------	----

応援・受援管理帳票（記入例）

○応援側資源帳票

応援組織・応援個人名	〇〇市 □□部 危機管理室
所在地	××県〇〇市△△1-1-1
担当者等情報	担当者連絡先 電話 △△△-×××-〇〇〇〇 FAX 〇〇〇-△△△-×××× 担当 △△ 一郎 メール kikikanrishitsu@city.〇〇.ig.jp

No	区分	内容	派遣先 送付先	出発予定（上） 到着予定（下）	派遣・送付手段	終了予定日
1	人的	職員 （男性○名女性○名）	幸手市 災対本部	△月○日	公用車	○月△日
	物的			△月□日		
2	人的	飲料水500ℓ	幸手市民 文化体育館	△月○日	〇〇運輸トラック （車両No. 8623）	×月□日
	物的			△月×日		
	人的			月 日		月 日
	物的			月 日		
	人的			月 日		月 日
	物的			月 日		
	人的			月 日		月 日
	物的			月 日		
応援内容に基づく協定等（ある場合）						
・ 〇〇市との災害時における相互応援協定						
有償の応援 ・ 飲料水 @100円（1ℓ）×500本＝50,000円 （単価×数量を記入）						
備考 ・ 職員○名まで派遣可能						

○受援側資源情報

受信日時 ○月 ×日 □時 ×分	受信部局・受信者名 幸手市危機管理防災課 幸手 太郎
受信者連絡先	0480-43-1111（582・584）
備考	

○データ入力者の記入情報

書類番号	入力者名	備考
------	------	----

様式 4 1 受援要請シート

【第 5 編-30ページ】

様式第 2 号

受援要請シート

年 月 日 時

担当部名		電話番号 (内線)	()
担当班名		FAX番号	
受援担当者名		メールアドレス	

業務名		
活動内容		
職種	公共	
	民間	
資格・経験		
人数		
期間		
参集場所		
必要物資	種類	
	数量	
備考		

受援要請シート（記入例）

年 月 日 時

担当部名	〇〇部	電話番号 (内線)	0480-43-1111 (582・584)
担当班名	××班	FAX番号	0480-43-6033
受援担当者名	幸手 太郎	メールアドレス	bousai@city.satte.lg.jp

業務名		避難所運営業務
活動内容		・避難所運営の補助 ・避難所状況の把握、報告
職種	公共	
	民間	
資格・経験		必要なし
人数		5人
期間		〇年〇月〇日～〇年〇月〇日
参集場所		〇〇避難所
必要物資	種類	
	数量	
備考		

様式 4 2 業務日報

【第 5 編-31ページ】

様式第 3 号

業務日報

年 月 日 時作成

所属		担当者氏名 内線	
日時	従事内容	成果・問題点等	
特記事項			
備考			

業務日報（記入例）

年 月 日 時作成

所属 ××課		担当者氏名 幸手 太郎 内線 ○○○○
日時	従事内容	成果・問題点等
○年△月×日 午前 8 時 3 0 分	朝礼・ミーティング	応援職員に対し、本日訪問する被災宅を説明した。
	被害認定調査	午前は○○地域の被災宅を△県訪問した。同地域の傾向として、大規模半壊の世帯が多くを占める様子。 午前に訪問した住宅からは、判定に不服等の意見は出なかった。
午前 1 1 時 3 0 分	一時帰庁	
休憩		
午後 1 時 2 0 分	被害認定調査	午後は□□地域の被災宅を×件訪問した。同地域は、比較的被害の少ない半壊未満の住宅が多かった。なお、被災者 A 氏が判定に不満であったため、同人宅については、後日再調査を行うものとする。
午後 5 時 3 0 分	終礼・ミーティング	
特記事項	・ ○○市の応援職員 1 名が熱中症による体調不良を訴えたため、同職員は大事をとって午後の業務は行わなかった。	
備考	・ ○○地域の調査は□月△日終了予定	